

令和

3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

| | | | | | | | |
|-----------------|---|-------------------|------------------------|------|------|--------------|---------------------|
| 事務事業名 | 老人憩の家運営事業 | 会計名称 予算科目 | 一般会計 3 款 1 項 10 目 | 事業番号 | 1361 | 担当課 所属長名 | 長寿介護課 野間美幸 |
| 事業評価の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ) | | | | | 担当責任者名 | 池田誠 |
| 法令根拠等 | 伊予市老人憩の家条例 | | | | | 実施期間 【開始】 | 令和／平成 17 年度 |
| 総合計画での位置付け | 健康福祉都市の創造 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践 | | | | | 【終了】 | 令和 年度(予定) ■ 設定なし |
| 総合計画における本事業の役割 | 介護予防・生きがいづくりの推進 | | | | | | |
| 事業の対象 | 当該施設の設置地区に居住する概ね 60 歳以上の者 | 事業の目的 | 高齢者の教養の向上、親睦及びレクリエーション | | | | |
| 事業の内容 (整備内容) | 指定管理者制度により、施設の管理運営は指定管理者によって行なわれ、施設の大規模な修繕と工事は市が行なう。令和元年度をもって施設の再編を行い、それまでの『施設名：「中山老人憩の家」「上灘老人憩の家」「下灘老人憩の家」（下灘老人憩の家は介護保険サービス事業所併設） 指定管理者：中山梅寿会、伊予市社会福祉協議会、双海夕なぎ会』から、下灘老人憩の家(指定管理者：伊予市社会福祉協議会)のみとなった。 | 昨年度の課題に対する具体的な改善策 | | | | | |

事業活動の内容・成果 (DO)

| 事業費及び財源内訳（千円） | | | | | | | 事業活動の実績（活動指標） | | | | | | | |
|---------------------------|---------|--|-------|--------|-------|-------|---------------|------|-----------|-----------|---------|----------|--|--|
| 項目 | 前年度決算 | 当初予算額 | 補正予算額 | 継続費その他 | 翌年度繰越 | 決算額 | 項目 | 単位 | 前年度実績 | 3年度予定 | 9月末の実績 | 3年度実績 | | |
| 直 接 事 業 費 | 30,004 | 1,240 | 0 | 0 | 0 | 1,140 | 下灘利用延人数（開館日数） | 人（日） | 1415(121) | 3000(150) | 348(36) | 694(86) | | |
| 財 源 内 訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| | 地 方 債 | 27,900 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| | そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| | 一 般 財 源 | 2,104 | 1,240 | 0 | 0 | 1,140 | | | | | | | | |
| 職員の人工（にんく）数 | 0.20 | 0.20 | | | | 0.00 | | | | | | | | |
| 1人工当たりの入件費単価 | 7,812 | 7,841 | | | | 7,841 | | | | | | | | |
| ※ 直接事業費+入件費 | 31,566 | 2,808 | | | | 1,140 | | | | | | | | |
| 主な実施主体 | 委託 | 実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄） | 指定管理料 | | | | | | | | | | | |
| 向こう 5 年間の直接事業費の推移 (千円) | | | | | | | 4 年度 | 5 年度 | 6 年度 | 7 年度 | 8 年度 | 5年間の合計 | | |
| 成 果 指 標 | 指 標 | 下灘老人憩の家の 1 日平均利用人数 | | | | 単位 | → | 区分年度 | 前 年 度 | 3 年 度 | 4 年 度 | 目標 每 年 度 | | |
| | | 高齢者福祉施設再編方針により介護予防拠点施設へ方向転換を実施した中、下灘老人憩の家については地域性を考慮して存続となつた経緯から、その効果を検証するため目標値を 20 人として指標を設定した。 | | | | 目 標 | | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | | |
| | | | | | | 実 績 | | 11.7 | 8.1 | | | | | |
| | | 高齢者の健康増進と教養向上による介護予防効果 | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価（CHECK）

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|-------------|--|--------------|--|---|---|---|-------------|--|--|--|
| 新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過） | | 昨年に引き続きコロナ禍の影響があり、感染症対策を徹底して施設運営に努めているが、指定管理者に対して、休館を要請した期間もあり、十分な施設活用に至っていない。 | | | | | | | | | |
| 事務事業の評価 | 自己判定（担当責任者） | 妥当性 | 目的の妥当性 | 5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | B | 事業成果・工夫した点 | 利用者に対して、マスクの着用や入館時の検温実施、人数制限など感染症対策を行い、適切な施設運営に努めることができた。 | | |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 | 3 | | | | | | |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 | 3 | | | | | | |
| | | 有効性 | 事業の効果 | 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | B | 事業の苦労した点・課題 | コロナ禍の影響による利用控え等あり、利用者数増加につながる施設運営ができなかった。 | | |
| | | | 成果向上の可能性 | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 | 3 | | | | | | |
| | | | 施策への貢献度 | 5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。 | 3 | | | | | | |
| | | 効率性 | 手段の最適性 | 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | B | 事業の方向性 | ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 高齢者の健康増進、教養の向上親睦の場を提供しており、現状で継続し事業効果を確認する必要がある。 | | |
| | | | コスト効率 | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 3 | | | | | | |
| | | | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しは適正と認める。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 | 3 | | | | | | |
| | 一次判定（所属長） | 妥当性 | 目的の妥当性 | 5 施策の目的に沿った事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | B | 所属長の課題認識 | 高齢者福祉施設再編計画に基づき、地域性を配慮し市内1か所で実施しているが、当該施設の利用状況、事業効果を確認しながら今後の方向性を検討していく必要がある。 | | |
| | | | 社会情勢等への対応 | 5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 | 3 | | | | | | |
| | | | 市の関与の妥当性 | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 | 3 | | | | | | |
| | | 有効性 | 事業の効果 | 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | B | 事業の方向性 | | | |
| | | | 成果向上の可能性 | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 | 3 | | | | | | |
| | | | 施策への貢献度 | 5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。 | 3 | | | | | | |
| | | 効率性 | 手段の最適性 | 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。 | 3 | 合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D | B | 事業の方向性 | | | |
| | | | コスト効率 | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 3 | | | | | | |
| | | | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しは適正と認める。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 | 3 | | | | | | |

| | | | | |
|---|------------------|---|---|--|
| 施 策 を 踏 ま え た 判 断 | 二 次 判 定 | <input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 <p>現状「高齢者福祉施設再編方針」に基づく再編の結果、下灘老人憩の家ののみ存続している。入浴料の有料化やコロナ禍による利用制限等を踏まえ、引き続き利用状況等を注視し、事業効果を検証していく必要がある。</p> <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。 |  | 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | |
|------------|------------------|-------|
| 行政評価委員会の答申 | 外 部 評 価 | 答申の内容 |
|------------|------------------|-------|

今後の方針性（ACTION）

| | | |
|---|--------|--|
| の経 最 終 者 判 会 議 の 議 事 | 事業の方向性 | コメント欄 |
| | | <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 |
| | | <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 |
| | | <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 |
| | | <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。 |